

予約商品機能のリリースに伴うAPIへの影響

1. はじめに

メルカリShopsでは、予約商品機能の導入を予定しています。

1.1 予約商品機能により可能になること

予約商品機能により、発売前の商品を公開して予約を受け付けることが可能になります。

予約可能期間を設定できるため、シーズナル商品など予約購入を前提とした販売がしやすくなり、予約数に応じた在庫調整も行えるようになります。

1.2 APIへの影響

予約商品につきましては、従来の通常商品に対して幾つかのパラメータが追加されます。また予約商品が注文された場合、注文データの振る舞いも従来と一部異なります。

通常商品につきましては影響ありません。

2. 変更点概要

変更が予定されている**query, mutation**

いずれも予約関連パラメータが追加されます。

- Queries
 - order
 - orders
 - product
 - products
- Mutations
 - createProduct
 - updateProduct
 - updateProducts

追加が予定されている**mutation**

- confirmPreOrderCharge - 予約商品は予約時において決済金額や発送先住所が未確定の状態です。このmutationの呼び出しにより、これらの情報が確定されます。それまではorderのshippingAddressはnullとなり、またtotalPriceやsalesFeeも商品価格や配送先変更などに応じて変化します。createOrderShippingを呼び出す前にこのmutationを呼び出す必要があります。仕様の詳細は12月に公開予定です。

webhook

webhookについても予約関連パラメータが追加されます。

リリース予定

1月末～2月中旬を予定しています。

対応しなかった場合の影響

販売者がShopsの管理画面等から直接予約商品を登録した場合、予約商品やその注文情報が取得される可能性があります。

ただし予約注文の発送については、新規に追加されるconfirmPreOrderCharge mutationを呼ばない限り、createOrderShippingの段階でエラーとなります。

通常商品につきましては影響ありません。Shopsの管理画面から予約商品を作成するケースがない限り影響はありません。

12月中に具体的な変更点について掲載します。